

平成30年6月9日（土）於：広島工業大学広島校舎

日本経営システム学会中国四国支部 平成30年度支部総会

議題

1. 平成29年度事業報告
2. 平成29年度会計報告
3. 平成30年度運営委員（案）
4. 平成30年度事業計画（案）
5. 平成30年度予算（案）
6. その他

以上

1. 平成29年度事業報告

I. 支部運営委員会

日時：平成29年6月10日（土）14：30－15：10

会場：広島工業大学広島校舎 301 教室

（広島県広島市中区中島町 5-7）

II. 支部総会

日時：平成29年6月10日（土）15：25－16：05

会場：広島工業大学広島校舎 301 教室

（広島県広島市中区中島町 5-7）

III. 講演会

■第1回

日時：平成29年6月10日（土） 16：20－17：30

会場：広島工業大学広島校舎 301 号室

（〒730-0811 広島市中区中島町 5-7）

共催：日本オペレーションズ・リサーチ学会 SCM&サービス工学研究部会

講師：宇野剛史氏（徳島大学准教授）

題目：腹膜偽粘液腫に対する遺伝子発現データ解析

概要：腹膜偽粘液腫は難治性のがん腫であり、その特性や発生機構は未解明である。近年特異的に発現する遺伝子の特定ががんなどの病気に対する診断や治療などに有用であることから注目されている。検体データには膨大な遺伝子情報が含まれることから、効率的なデータ解析が要求される。本講演では厚労科研費採択課題の一環として行われた共同研究の概要について紹介する。

■第2回

日時：平成29年12月9日（土）14：10－17：30

会場：広島工業大学広島校舎 301 号室

（〒730-0811 広島市中区中島町 5-7）

共催：

・日本オペレーションズ・リサーチ学会 SCM&サービス工学研究部会

・日本経営システム学会 イノベーション指向データ分析研究会

講演1

講師：垣内洋介氏（広島工業大学情報学部情報工学科 准教授）

題目：ソルバを用いた最適化問題へのアプローチ

講演2

講師：木村文則氏（尾道市立大学経済情報学部 講師）

題目：Twitter を対象としたテキストマイニングによる分析事例

2. 平成29年度会計報告

収入の部		支出の部	
科目	金額 (円)	科目	金額 (円)
平成29年度支部運営金	30,000	会場費 (6月)	4,000
		講演謝金 (6月)	8,000
		講演謝金 (12月)	9,000
		講演謝金 (12月)	9,000
		小計	30,000
		本部返金	0
計	30,000	計	30,000

資料1：監査報告書・丹羽啓一氏 (監事)

資料2：監査報告書・藪内賢之氏 (監事)

3. 平成30年度運営委員 (案) (50音順, 敬称略)

支部長：谷崎隆士 (近畿大学)

副支部長：加藤浩介 (広島工業大学)

幹事：宇野剛史 (徳島大学)

監事：丹羽啓一 (広島経済大学), 藪内賢之 (下関市立大学)

運営委員：折戸洋子 (愛媛大学), 加島智子 (近畿大学), 片岡隆之 (近畿大学),
久保大支 (広島経済大学), 島田文彦 (広島国際大学), 丁井雅美 (広島国際大学),
堂本絵理 (広島経済大学), 羽森寛 (オー・エイチ・ティー(株)),
韓虎剛 (県立広島大学), 松本慎平 (広島工業大学).

顧問：上野信行 (広島経済大学), 久保田明 (元(株)ハイエレコン)

特別顧問：福井五郎 (株)ハイエレコン)

4. 平成30年度事業計画（案）

I. 支部運営委員会

日時：平成30年6月9日（土） 14：20－15：00

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

II. 支部総会

日時：平成30年6月9日（土） 15：15－15：55

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

III. 支部講演会

■第1回

日時：平成30年6月9日（土） 16：10－17：30

会場：広島工業大学広島校舎 301号室

（〒730-0811 広島市中区中島町5-7）

共催：

- ・日本OR学会中国・四国支部「SCM&サービス工学」研究部会
- ・日本OR学会「食とその周辺」研究部会

講師：蓮池隆 氏（早稲田大学准教授）

題目：農産物における産直流通モデルと農家・小売間の最適マッチング

概要：農産物サプライチェーンマネジメントにおいて、既存流通形態では、農家負担が重く、また産直販売では、流通規模に限界があった。そこで近年、既存流通形態の中間モデルにあたる産直流通モデルの可能性を探る研究がなされている。本研究では、この産直流通モデルを農家・小売間の最適マッチングととらえ、数理計画問題として定式化、分析を行うことで、産直流通モデルの利点・欠点を明らかにする。

■第2回（広島地区で開催予定）

世話役：谷崎支部長

（日本OR学会中国・四国支部SCM&サービス工学研究部会との共催予定）

IV. 長期的活動方針

- 学界のみならず産業界との連携を積極的に行い、魅力的な活動の実施を通じて会員及び賛助会員の増大を図る。
- 中国四国地区における経営システム分野の研究者と実務家との間の交流を活性化させる。
- 支部活動を通じて、会員相互の連携や関連分野の人材の取り込みを図るとともに、研究活動を充実させる。

5. 平成30年度予算（案）

収入の部		支出の部	
科目	予算	科目	予算
本部交付金	30,000	会議費	4,000
		講演謝金	26,000
		小計	30,000
		本部返金	0
計	30,000	計	30,000

6. その他

- 支部ホームページの運営管理：宇野幹事
 - URL：http://www-math.ias.tokushima-u.ac.jp/jms_cs/
- 支部運営委員および支部会員の名簿管理：宇野幹事
- 支部運営委員および支部会員への各種案内メール送付：宇野幹事